

## 罪と病、そして神のみ心

☞その日までは、神は、病気やその他の悪を、神の目的（神の栄光を讃えて聖なるみ名を高く上げることを果たすために用いられる。

イエスはさまざまな病気や患いを癒すためにイスラエル全土を巡られました。ラザロが病気で死んだ後、彼を死からもよみがえらせました。

→マタイによる福音書 4：23 イエスはガリラヤ中を回って、①諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、②また、民衆のありとあらゆる病気や患いをいやされた。

患う⇒串(=不思議なこと=奇(くす)し、神秘的[靈妙])＋心

☞神は罪の裁き(≡懲らしめ)の方法として、病気を*用*いられた。

1. ウ ज्या王は重い皮膚病(ハンセン病)に犯されました(歴代誌下 26:19)

→歴代誌下 26：19 香をたこうとして香炉を手にしていたウ ज्याは怒り始めたが、祭司たちに怒りをぶつけている間に重い皮膚病がその額に現れた。それは主の神殿の中にいた祭司たちの目の前、香の祭壇の前の出来事だった。

2. ネブカデネザルは、「いと高き方が人間の国を支配される」ことを理解するまで、気がおかしくなった(ダニエル4章)

→ダニエル書 4：14 この宣告は見張りの天使らの決定により／この命令は聖なる者らの決議によるものである。すなわち、人間の王国を支配するのは、いと高き神であり、この神は御旨のままにそれをだれにでも与え、また、最も卑しい人をその上に立てることもできるということ、人間に知らせるためである。』

3. ヘロデは、神に栄光を帰さなかったので、虫にかまれて息絶えました(使徒 12:21~23)

→使徒言行録 12：21~23 定められた日に、ヘロデが王の服を着けて座に着き、演説をすると、集まった人々は、「神の声だ。人間の声ではない」と叫び続けた。するとたちまち、主の天使がヘロデを撃ち倒した。神に栄光を帰さなかったからである。ヘロデは、蛆に食い荒らされて息絶えた。

4. 神が、ご自身を現わして、神の力ある業を示すために、病気を許された(ヨハネ 9:3)

→ヨハネによる福音書 9：1~3 さて、イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられた。弟子たちがイエスに尋ねた。「ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。」イエスはお答えになった。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。

☞神の目的が何であるか、私たちに理解できようと思えば、すべての病気は、全能の神が許されたことです。



NO COPY H. Taniguchi